

## 山梨大学の研究者への研究支援の手続に関する申合せ

制定 平成27年9月3日

改定 平成30年1月30日

平成30年12月18日

平成31年3月26日

令和6年2月13日

### (趣旨)

第1 この申合せは、山梨大学（以下、「本学」という。）男女共同参画推進室（以下、「推進室」という。）が行うワークライフバランスを推進するための支援事業について、必要な事項を定めるものとする。

### (定義)

第2 この申合せにおいて、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

#### (1) 研究者

常時勤務する教授・准教授・講師・助教・研究員など、府省共通研究開発管理システム（e-Rad）の研究者番号を付与されている者

#### (2) ライフイベント

妊娠、出産、育児（中学校卒業までの子の養育）、介護（2週間以上の期間にわたり日常生活を営むのに支障がある家族の生活支援や世話）、不妊治療

#### (3) キャリアアシスタント

ライフイベント中の研究者の研究を補助する技術補佐員

## 第1節 産休・育休からの復帰支援制度

### (目的)

第3 出産・育児等によって研究活動が中断した研究者が、職場復帰を果たし、研究の停滞を取り戻すことを促進するために、研究費を助成することにより研究活動を支援することを目的とする。

### (支援の対象者)

第4 支援の対象者は、本学に在職する研究者のうち、教授・准教授・講師・助教の職位にある者で、産後の特別休暇または育児休業から職場復帰して2年以内の女性研究者および通算2ヶ月以上の育児休業を取得し職場復帰して2年以内の男性研究者とする。

### (助成金の対象)

第5 助成金は、支援対象者が実施する研究活動に係る経費（物品費、旅費、謝金等）に充てるものとする。

(助成額等)

第6 助成額は、別表のとおりとする。ただし、予算の状況により助成額が減額される場合がある。

2 助成金は、他の研究経費と併せて使用することができる。

(申請の方法)

第7 原則として半期ごとに学内公募を行う。申請者は、公募期間内に申請書を別紙様式1-1により推進室へ提出する。なお、申請は一子につき一度までとし、一度助成を受けた者は支援対象の期間内であっても再度申請を行うことはできない。

(助成決定の通知)

第8 審査のうえ助成を決定し、推進室から申請者本人へ速やかに通知する。

(助成を受ける者の手続き等)

第9 助成を受けた者は、助成終了後、実績報告書を別紙様式1-2により推進室へ提出するものとする。

## 第2節 女性研究者に対する論文投稿費と英文校閲費支援制度

(目的)

第10 女性研究者の論文作成に伴う経済的負担の支援を行うことを目的とする。

(支援の対象者)

第11 支援の対象者は、本学に在職する女性研究者のうち、筆頭著者として論文を作成する者とする。

(助成額等)

第12 助成額は、論文一編あたり上限5万円とし、助成金の用途は論文投稿費(英文校閲費を含む。)とする。ただし、予算の状況により助成額が減額される場合がある。

(申請の方法)

第13 原則として半期ごとに学内公募を行う。申請者は、公募期間内に申請書を別紙様式2-1により推進室へ提出する。なお、一人が応募できる件数は論文1編および1年につき1件までとする。

(助成決定の通知)

第14 審査のうえ助成を決定し、推進室から申請者本人へ速やかに通知する。

(助成を受ける者の手続き等)

第15 助成を受けた者は、論文投稿費が生じ次第、速やかに実績報告書を別紙様式2-2によ

り推進室へ提出するものとする。また、論文の謝辞（acknowledgements）で本支援を受けた旨を記載するものとする。

### 第3節 キャリアアシスタント制度

（目的）

第16 推進室がキャリアアシスタントを雇用・派遣し、本学の研究者の研究活動を補助することによりライフイベントとの両立を支援するとともに、キャリアアシスタント自身の研究キャリアの形成支援を目的とする。

（支援の対象者）

第17 支援の対象者は、本学に在職する研究者のうち、共働き世帯又は一人親家庭の者でライフイベント中の者、ライフイベント中の配偶者がいる者、もしくはこれに相当すると男女共同参画推進室長が認める者。

（申請の方法）

第18 原則として半期ごとに学内公募を行う。申請者は、申請書を別紙様式3-1により推進室へ提出する。

（支援の決定）

第19 申請が多数であった場合は、山梨大学女性活躍推進行動計画に基づき女性の研究者を優先する。

（支援を受ける者の手続き等）

第20 支援を受けた者は、支援終了後、利用報告書を別紙様式3-2により推進室へ提出するものとする。

（キャリアアシスタントの募集と選考）

第21 キャリアアシスタントの応募資格等は次の各号とし、選考は、支援が決定した研究者からの申請に基づき、個別事情に十分配慮したうえで、推進室が行う。

（1）応募資格

被支援者が求める能力を有する者であり、研究補助業務を通じて研究者等へのキャリアパスを具体的に考えようとする意志を持っている者とする。

（2）身分

推進室に所属し、「国立大学法人山梨大学非常勤職員就業規則」第2条第2項第3号に定める非常勤職員とする。

（3）職務内容

研究者の研究補助業務に当たる。

（4）勤務時間

キャリアアシスタント自身の研究活動、授業等に支障が生じないよう配慮の上、一日6時間以内を原則とする。尚、申請時間に変更が生じる場合は、別紙様式3-3により事前に推

進室へ提出する。

(5) 給与

「国立大学法人山梨大学非常勤職員給与規程」による。

(6) その他

その他必要な事項は個別に定める。

第4節 その他

(その他)

第22 この申合せに定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附記

- 1 この申合せは、平成27年9月3日から施行する。
- 2 山梨大学の研究者への研究支援に関する実施要領（平成25年2月14日制定）は廃止する。

附記

この申合せは、平成30年4月1日から施行する。

附記

この申合せは、平成31年4月1日から施行する。

附記

この申合せは、令和6年4月1日から施行する。

別表（第1節第6関係）

性別	取得期間（男性の場合のみ）	助成額
女性	-	10万円
男性	通算1年以上取得した場合	
	通算6ヶ月以上取得した場合	5万円
	通算2ヶ月以上取得した場合	3万円